

令和3年度佐渡ジオパーク推進協議会臨時総会議事録

1 日時 令和4年3月24日(木) 13:30～15:00

2 場所 アミューズメント佐渡 はまなすホール

3 出席委員

顧問	渡邊剛忠(有識者)
会長	渡辺竜五(市長)
副会長	新発田靖(教育長)
同	樺澤尚(新潟県佐渡地域振興局長)
	大鳥範和(新潟大学理学部長) 【オンライン参加】
(代理)	木村富美雄(佐渡連合商工会)
	祝雅之(佐渡観光交流機構専務理事)
	堅野信(JA佐渡代表理事専務)
	村山優樹(新潟交通佐渡㈱代表取締役専務)
	松岡篤(有識者)
	中川清太郎(有識者)
	本間東三夫(佐渡観光旅館連盟会長)
	池善世(佐渡ジオパークガイド協会会長)
	中野洸(佐渡を世界遺産にする会会長)
	大石惣一郎(佐渡棚田協議会会長)
	猪股雄司(佐渡市企画課長)
(代理)	岩崎成正(佐渡市世界遺産推進課)

4 欠席委員

顧問	佐藤久雄(新潟県議会議員)
	中川隆一(新潟県議会議員)
アドバイザー	澤栗浩明(環境省佐渡自然保護官事務所首席自然保護官)
会員	安東宏徳(新潟大学佐渡自然共生科学センター臨海実験所長) 委任状
	永田尚志(新潟大学佐渡自然共生科学センター長) 委任状
	松倉聡(JA羽茂常務理事) 委任状
	尾崎弘明(佐渡汽船本社代表取締役社長) 委任状
	藤林紀枝(有識者) 委任状
	市橋弘之(佐渡トレッキング協議会事務局長) 委任状
	中道康夫(佐渡山岳会会長) 委任状
	寺尾和弥(佐渡漁業協同組合代表理事組合長) 委任状
	中川良明(佐渡森林組合代表理事組合長) 委任状
	逸見剛(佐渡青年会議所理事長) 委任状
	濱崎賢一(佐渡市教育委員会佐渡学センター長) 委任状

5 事務局

市橋秀紀（事務局長）
伊藤智子
本間克彦
関根吉則
貞包健良
相田満久
大塚靖人

6 審議結果・質疑 議 事

（１）令和４年度 事業計画（案）について

結果：承認

（２）令和４年度 予算（案）について

結果：承認

（３）佐渡ジオパーク 10 周年記念事業実行委員会の組織編制について

結果：承認

（議事内容要約／質疑応答）

1 渡辺会長あいさつ

2 総会成立の報告

会員数 27 名、出席者数 15 名、委任状提出 11 名、合計 26 名

過半数に達しているので、協議会設置要綱第 12 条第 4 項の規定により総会成立。

3 議事

（１）議案第 1 号 令和 4 年度 事業計画（案）（資料 No. 1－1、1－2、2）

日本ジオパーク委員会からの 9 つの指摘事項に対する、アクションプランにおける取組及びその他のジオパーク推進に関する取組について、令和 2～3 年度の実績と、令和 4 年度の事業計画（案）を配布資料により説明。

「ジオサイトの整理と再設定」については、特に佐渡金銀山をはじめとする地球科学的にも重要な資源の保全活用にも関わっていく必要があるという指摘を受け、佐渡金山坑道内をジオパークガイドが案内するための研修会や実際のガイド案内を試行した。今後も佐渡金銀山等の活用を検討していく。

「ジオツーリズムの充実とマーケティング分析に関すること」については、教育旅行に今後も力を入れ、体験プログラムを充実し、小学生だけでなく中学生・高校生も対象にし、誘致を図っていきたい。

「拠点施設の再整備と系統的な情報発信の実施」について、拠点施設である佐渡博物館の 2 階常設展示一部の展示替えを行い、ツチクジラ化石展や和名命名のイベントを行うなど、子どもの興味を抱かせる学習展示を工夫していきたい。

「3 事業の実質的な効果の創出」について、3 事業の関係課や関係機関と連携し、3 資産プレミアムツアーなどの連携事業を実施する。

「ストーリーの再構築」について、令和 2 年度にはオリジナル映像を、令和 3 年度

には入門書を作成した。今後は各世代にあった副読本を作成し、佐渡ジオパークのストーリーの普及に努める。

その他のジオパーク推進事業としては、市民講座やガイド養成・育成の仕組みを見直し、ジオパークを色々な角度から楽しんでもらう事業を行う。また、SNSを活用したフォトキャンペーンやジオパーク食のレシピコンテスト等を行い、情報発信の充実を図る。大学等の調査研究に対する市補助金を活用し、学術データの蓄積を充実させる。ふるさと納税の返戻品のジオパーク関連のものを追加し、寄付を増やす工夫をする。

【質疑応答】 特になし

(2) 議案第2号 令和4年度 予算(案)(資料No.3)

収入・支出の予算額はそれぞれ16,570千円。

【質疑応答】

○委員：旅行商品開発委託料について、教育旅行をターゲットにした場合は従来のモニターツアーとは異なるものになる。学校がどういう教科書を使って子ども達が勉強するのかを分析して、先生たちにアプローチしていくのが良い。

○会長：ジオパークは小木がひとつのメイン。小木ー直江津航路の利用促進で、小木航路の佐渡汽船ジェットフォイルを活用した観光プラス体験型メニューを検討してほしい。観光サイドとしっかりと連携した上で多様な取組をしてほしい。

○委員：城山の遊歩道についても、再整備を進めてほしい。

○会長：城山については、名勝特別規制の法令がかかっているため改修が難しい。

○事務局長：庁内で連携し、県とも相談しながら方向性を検討していく。

○委員：ジオパークもジアスも世界文化遺産も、次の世代をどうやって育てるかということが一番重要。生まれた場所が素晴らしい島だと学ぶ機会を作り、地域に入って地域を元気にしてほしい。

○会長：ターゲットは子どもというより保護者と考える。教育が地方創生にとって一番大事。それぞれの場で広く進めていく必要がある。

(3) 議案第3号 佐渡ジオパーク10周年記念事業実行委員会の組織編制(資料No.4)

令和5年度に日本認定10周年記念事業を行う予定。令和4年度は実行委員会を立ち上げ、内容を協議し、準備するための組織編制。委員長は教育長、副委員長は連合商工会と観光交流機構の会長、アドバイザーには協議会顧問(1名)を予定している。協議会の各部会で内容を検討し、佐渡市と関係団体とで実行する体制。

【質疑応答】

○委員：交流事業に地元が関わって行うことが大事。地域交流部に地元の人が協力する体制がいないのか。

○事務局長：地域交流部は祝賀会等の担当。送迎・宿泊・ツアー一部が地元の人を巻き込んでツアー等を行う部門となる。こちらで力を貸してほしい。

○委員：10周年記念に参加する人はどのような人を想定しているのか。海外からも来てもらい、佐渡の人が海外に展開することを経験してもらう機会にしてはどうか。

10 周年事業は、10 年のまとめではなく、その先の 10 年をどうするかを考える企画にするのが良いのではないか。

式典・講演会部に、研究機関として新潟大学しか入っていないが、今後の発展、研究が進み、新たに魅力が発掘されるためにも、広く協力を依頼した方が良いのではないか。

○事務局：市民、島外、県外の方たちに発信していく。J G Nの他のジオパークの方々にもご案内をする予定。海外への発信も視野に入れて考えていく。

新潟大学以外の研究機関についても、検討する。

○会長：何のために 10 周年をやるのか、基本コンセプトを議論する必要がある。

○委員：資料の集収に力を入れて欲しい。

土木工事を発注する際に資源の保全を強く意識して責任を持ってもらいたい。

10 周年を機会に、佐渡市のシンボルストーンを募集してはどうか。

○会長：3 件とも法的なことも関係する。特に佐渡の石については、市民の合意形成も必要になるので、提言としていただいておく。

○顧問：10 周年事業については、色々な部署と連携して進める必要がある。そして、3 つの資産について、できれば島民を巻き込んでシンポジウムをやるなど、佐渡全体で盛り上がるような企画を考えて欲しい。

4 樺澤副会長あいさつ

終了